

令和3年度
第5回留萌市公共施設整備検討会議
議事概要

○日時／令和3年12月23日（木）15:00～17:10

○場所／留萌市役所3階 3・4号会議室

○出席者／委員 炭谷座長、向井副座長、大石委員、村上委員、藤田委員、笠井委員、小沼委員、堀口委員、高橋委員、大和委員、遠藤委員、伊端委員、大館委員、谷委員、田村委員 ※順不同

オブザーバー 留萌振興局地域創生部：榎波部長

留萌市都市環境部：安田課長、市教育委員会：伯谷課長、峨家係長、

事務局 留萌市地域振興部政策調整課：海野課長、菊池係長、高橋主任

アドバイザー 北海道大学大学院工学研究院：小篠准教授

運営支援 (株)ドーコン 佐竹、朝倉、佐藤

1. 開会

2. 座長挨拶

－炭谷座長よりあいさつ。

3. 資料説明

(1)市民アンケート調査の実施について【資料1】

－事務局より、市民アンケート調査の実施【資料1】について説明。

－質疑・意見確認

(留萌市)

・市民アンケート（案）問4に記載の選択肢は、駅前周辺地区ではなく、駅周辺地区へ表記を変更する。

(〇〇委員)

・アンケートの実施理由は何か。

(留萌市)

・検討会議の委員の意見だけでなく、幅広い市民の意見を聞くために実施する。

(〇〇委員)

・利用者が少ない事が分かっている施設に対し、利用頻度を質問しても意味がないのではないか。また、アンケート（案）問3の機能イメージ図は理解がしにくい。公民館機能、スポーツ機能、ホール機能等が含まれており、どのような施設となるのか想像しにくいのではないか。検討会議を複数回実施しており、駅前の利用方法について沢山の意見が出ている。また、先日行ったまちづくり懇談会では、どのような施設を整備すべきかを問うと、まちづくりの方針を決めてから整備方針を決めるべきとの声が大多数だった。

(炭谷座長)

・あまり利用頻度が高くない施設については、その理由を掘り下げる質問も加えており、

施設機能の検討に活かせると考えている。

(〇〇委員)

・ 座長名でのアンケート実施となるので、検討会議の委員皆さんの意見を確認したい。

(〇〇委員)

・ 問1、問2と問3、問4の回答をリンクする形で回答集計できれば、意味があるのではないかと。問3、問4を単純に集計するだけでは意味が感じられない。

(〇〇委員)

・ 検討会議の議題に上がった内容（防災面等）を設問に加えてはどうか。機能イメージ図は、建物全体として入れ込みたい機能を箇条書きとしてもいいのではないかと。その上で、追加してほしい機能や整備優先度を問いに加えてはどうか。また、市民アンケート実施数1,200名の根拠を教えてください。

(留萌市)

・ 市民アンケート実施数は、人口規模から統計学に基づいて決定している。毎年実施している市民アンケートについても、同数で実施している。また、市民検討会議で話し合った議題について（防災面や各機能面）アンケートへ反映する、もしくはホームページに掲載する等の方法で、検討会議は熱量をもって実施してきたということアピールしたい。

(〇〇委員)

・ 皆さんの意見も踏まえ、アンケート（案）は、検討会議の議論テーマを盛り込む等の微修正を行う。アンケート内容には関係ないが、中途半端な時期に中途半端なアンケート結果を出すことが市長選挙に影響するのではないかと。

(炭谷座長)

・ 市長選挙までには時間がないため、簡易集計で結果をまとめる予定である。最終報告については年度末に再度行う。

(〇〇委員)

・ 無作為抽出のため幅広い年齢層が対象となることから、かみ砕いた分かりやすい文面としてほしい。

(2) 「新たな公共施設」の整備・運営手法について【資料2】

ードーコンより、「新たな公共施設」の整備・運営手法【資料2】について説明。

ー質疑・意見確認

(〇〇委員)

・ 全国各地に沢山の事例があり、行政が運営することは非効率なのは間違いないと感じている。ただ、民間事業者が整備運営を行うことで何か問題点はあるか。

(ドーコン)

・ 室蘭生涯学習センターきらんでは当初、武蔵野プレイスのように施設内にカフェを導入することを計画していたが、採算性を検討した結果、カフェは整備しないことになった経緯がある。

(〇〇委員)

- ・温水プールふるもは財政難で、夏期を除いて営業を休止している。新施設についてはランニングコストをしっかりと考えることが必要である。図書館については TSUTAYA と組んでいる事例が全国に沢山ある。また、図書館やトレーニング施設等は専門性を持った人材が必要となる。

(3) 公共施設整備に係る補助金等財源一覧について【資料 3】

- －事務局より、公共施設整備に係る補助金等財源一覧【資料 3】について説明。
- －質疑・意見確認
- －特になし

4. グループ協議

(1) 第 5 回検討会議でのテーマ検討【資料 4】

- －事務局より、第 5 回協議テーマ【資料 4】について説明。
- －質疑・意見確認
- －特になし

(テーマ)

新たな公共施設の運営方法について

(1) グループ協議

- －4 グループに分かれて意見交換を実施。

(2) 意見交換の結果報告

① A グループ

- －〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・民間ではなく、公共が整備運営を行う方がコストがかからないのではないかな。
- ・留萌独自の準指定管理方式を検討すべきではないか。遠軽町等の例も見てきた中で、指定管理方式であれば、指定管理者が施設管理・企画運営を全て行うことになるが、それは難しいのではないかな。市民が求めるようなソフト事業（企画運営）をうまく展開できる仕組みを新たに作るべきではないかな。
- ・様々な機能が含まれた複合施設を、1 つの団体が運営管理を行うのは難しいのではないかな。
- ・既存施設と機能イメージで重なる部分もあるが、重なる部分は既存施設では廃止し、統合すべきではないかな。
- ・専門的な知識を必要とする機能は集合させた方が良いのではないかな。
- ・市民が主役となるような運営方式が良いのではないかな。
- ・運営時には中心人物が必要。専門知識を持っている人物がアドバイスできるような仕組みを作ることで、持続可能な運営となるのではないかな。
- ・次回の検討会議までに、会議所、FM もえる等の団体が一部入居や取得したいニーズがあるのかどうかを把握してほしい。

②Bグループ

一〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・施設管理は1つの団体が頭となりつつ、様々な機能も組み込むため委託という形で他の団体も関わりながら運営する方式が良いのではないかと。
- ・指定管理は自由度がなく難しいのではないかと。民間運営であれば料金も柔軟に設定可能となるため良いのではないかと。
- ・現在も文化センターやスポーツセンターの運営に関わっている団体は複数あるが、運営管理に係る団体をマネージメントしていく必要があるのではないかと。
- ・建物は行政で整備し、運営は民間で行うことが良いのではないかと。

③Cグループ

一〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・管理運営を行う上で専門性の高いスタッフの育成が重要である。育成だけでなく連れて来ることも含めて考える必要がある。
- ・民間で管理運営を行うことが良いのではないかと。ただ運営を任せるのではなく、専門性のある人材を持っているか、育てられる企業が望ましい。
- ・複合施設となるが、1つの企業で管理運営ができるのか。市民参加も行いながら管理運営を行う企業との綿密な連携が必要ではないかと。
- ・類似事例では、民間が管理運営を行っている場合の良い面・悪い面のどちらも教えてほしい。また、各施設のランニングコストの状況についても把握したい。
- ・管理運営を民間企業へ任せる場合でも、行政が全てを丸投げすることは望ましくない。民間企業は収益が出る状況でなければ運営ができない。管理すべきところには市職員を派遣し、キーパーソンのそばにいて学ぶことが大事ではないかと。
- ・管理運営を行う団体が建設の検討段階から参加できることが理想ではないかと。

④Dグループ

一〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・機能イメージ図にて、整備したい機能を表しているが、コアは何なのかが分かりにくい。どの機能をコアにするかによって、管理運営方法も変わってくるのでは。
- ・基本的には現在の指定管理制度を、新施設へスライドして良いのではないかと。ただ、問題がある箇所については民間への委託等も検討すべきである。
- ・現在運営に関わっているスタッフの能力の活用も行うべき。
- ・運営コストに対する収入について、資料としてまとめてもらえるとありがたい。
- ・事業方式を決めるのではなく、機能面から事業手法を検討する必要があるのではないかと。整備手法について説明があったが、人口規模が大きい事例が多いため、留萌市にマッチする事例はどこか教えて欲しい。
- ・文化面の利用が多い施設だったのか、スポーツ面での利用が多い施設なのかによっても考え方が変わるのではないかと。
- ・市の財政面の体力にも影響されるのではないかと。

- ・事例にあった各都市の施設では、なぜその事業手法を採用したのか背景を知りたい。
- ・遠軽町の例では、地元企業が運営に手を挙げているのだろうか。手が上がらなければ、過去の施設と同じような運営管理方法になってしまうのではないか。

⑤小篠准教授よりコメント

- ・発表された内容を聞くと、1回の検討会議ではなく、2回かけて話すべき内容であると感じた。
- ・現状の指定管理で良いのかという疑問を持っている意見があることから、新施設でも指定管理方式をスライドするという結論にはならないのではないか。
- ・整備イメージ図に記載された機能をすべてもっている公共施設は存在しない。そのため、これを実現させるための運営方式を検討しなければならない。特化させた指定管理など、新たなやり方を考える必要がある。運営と管理を分ける必要があり、運営には市民が参加する必要がある。
- ・全体をマネジメントする人材が重要である。他の複合施設にもディレクター的な人物がいる。相乗効果を生み出すことを考える人が必要。
- ・駅周辺地区の土地を利用して、施設全体として何を指すのか。現在は機能のみを先行して検討しているが、運営にもその目標が必要ではないか。施設全体の目標を全員が理解したうえで管理運営をしていかなければいけない。次の検討会議ではその視点も持ちながら議論する必要がある。
- ・各論だけではなく、総論もしっかりと話し合う必要がある。
- ・目標がはっきりすることで団体や企業が出資してもいいという話に発展する。市民も施設整備の考え方を理解することで、「共通した価値観」を作っておく必要がある。
- ・補足として、事例の武蔵野プレイスは設計コンペを行った際、コンペ案は行政が作成したがコンペ終了後に、施設計画を2年かけ財団が市民の声を聴きながら書き直した経緯がある。運営を考えるという事はユーザーを考えることに繋がる。

ー市長からのコメント。

- ・地域の賑わいを駅周辺に持ってくるのがまちづくりの中で必要だと考えている。現状では各施設が分散しているため難しかったが良いタイミングである。
- ・市が整備した施設の使い勝手がなぜ悪いのか、理由を明確にしなければならない。使用者の意思が反映されていないのか、整備から年数がたっており老朽化しているからなのか。野球場等の利用目的が明確なものは使い勝手に問題が出にくい。そのため、利用者ニーズに合ったものを整備する必要がある。
- ・各機能を利用する人はプロだが、管理運営している人はプロでないという側面がある。そのため、管理運営を民間に委託し管理運営もプロが行うことが望ましいという考え方もある。
- ・庁舎を建てる際の起債制度を要望する会を立ち上げ、9市町村で行っている。今後デジタル化が必要となり、施設の管理にも仕組みを取り入れていく必要がある。スマートシティが施設にどのような良い意味をもたらせられるのか考えていきたい。
- ・今年度は今回で5回目の検討会議を開催していただき、検討委員の皆様にも熱い議論して

いただいていることに感謝している。市民に求められる施設づくりを引き続き検討していきたい。

5. その他

- －市から、各種事例や背景についても次回会議で再度説明したいと説明があった。
- －質疑・意見確認
- －特になし。

6. 閉会